

チェックリストで分かる伸ばす側面とその手立て 予想・仮説の設定の場面（第4学年）

番号	伸ばす側面	チェック事項	手立て（単元計画に記載する内容）
Q1	思考の基盤	自分の予想を立てることができますか。	既習事項や生活経験について想起させることで予想を発想させる。 問題を見いだす際に扱った事象を再度見せること（タブレットを使って動画を撮影しておく）で予想を立てさせる。
Q2	探究的思考	友だちが立てた予想について「どうしてそう考えたのかな？」と考えていますか。	友達が立てた予想が科学的な考え（みんなが納得できる予想）かについて考えさせ、質問を行わせる。
Q3		友だちが立てた予想について、質問したくなりますか。	
Q4	合理的思考	みんながなっとくできること（今まで勉強したことや体験したこと）を理由にして、予想を立てることができますか。	根拠のある予想と根拠のない予想を児童に比較させることによって、根拠のある予想の方がみんなが納得できる予想であることを理解させる。
Q5	反省的思考	予想を立てるときに、自分の予想におかしなところがないか見直していますか。	「みちがえる質問集」を活用し、自分や友達の考えを見直す経験を積ませる。
Q6		友だちとの話合いを通して、自分の予想を見直していますか。	
Q7	目標志向的思考	問題に合った予想を立てていますか。	質問し合うことで問題に対して正対した予想になっているかを考えさせる。
Q8	懐疑的思考	友だちの考えにまちがいがありませんか。	話合いを通して友達の考えを見直す経験を積ませる。